

アレス・グローバル・ ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし/ 年4回決算型)

追加型投信／内外／債券

日経新聞掲載名：アレGHY4

第2作成期 2025年4月25日から2025年10月24日まで

第3期 決算日
2025年7月24日

第4期 決算日
2025年10月24日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界のハイイールド債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当作成期の状況

基準価額(作成期末)	10,118円
純資産総額(作成期末)	102百万円
騰落率(当作成期)	+12.2%
分配金合計(当作成期)	230円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

 三井住友DSアセットマネジメント
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

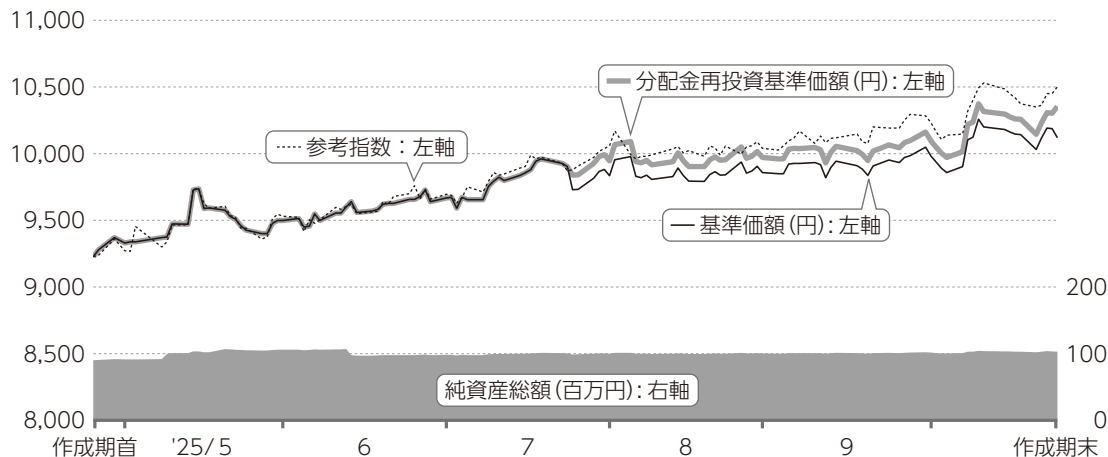
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年4月25日から2025年10月24日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	9,227円
作成期末	10,118円 (当作成期既払分配金230円(税引前))
騰落率	+12.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、ICE BofA グローバル・ハイイールド・コンストレインド指数(米ドルヘッジ、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2025年4月25日から2025年10月24日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界のハイイールド債券に投資しました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- ハイイールド債券の金利収入を得たこと
- 米国債利回りの低下に加え、株式市場が堅調に推移する中、ハイイールド債券のスプレッド(国債に対する上乗せ金利)が縮小したこと
- 日本の新政権による財政拡大が意識されたことなどで円が売られ、米ドル高・円安が進行したこと

1万口当たりの費用明細(2025年4月25日から2025年10月24日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	55円	0.568%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 【期中の平均基準価額は9,770円です。】
(投信会社)	(16)	(0.165)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(38)	(0.386)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(-)	(-)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	56	0.570	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

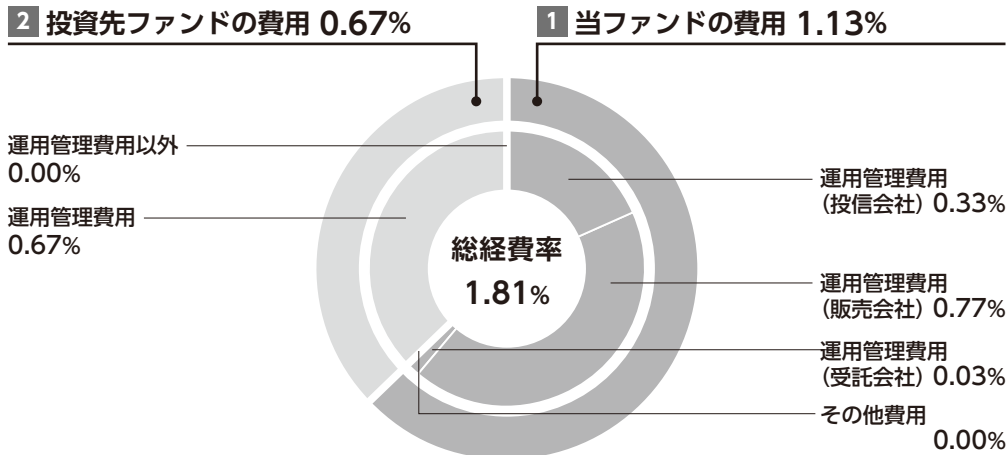
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	1.81%
1 当ファンドの費用の比率	1.13%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.67%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

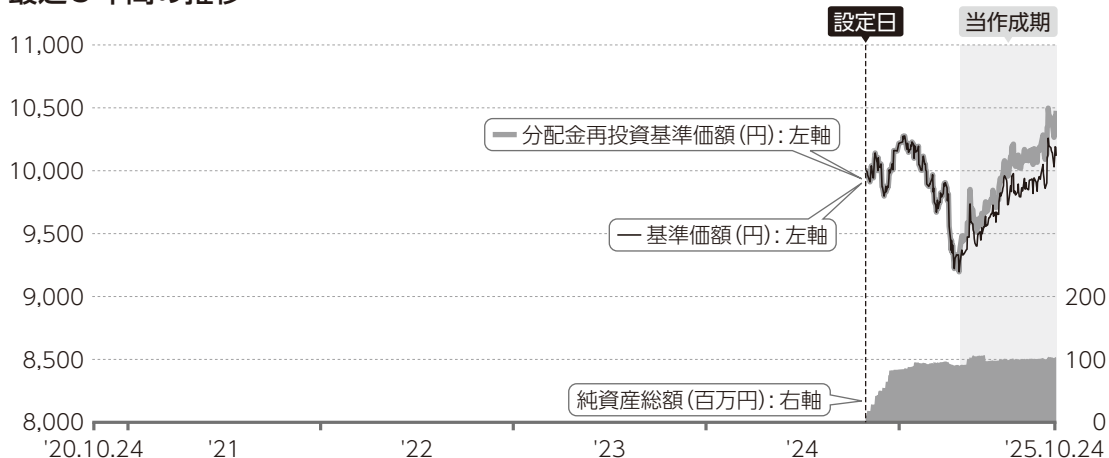
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.81%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年10月24日から2025年10月24日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2024年10月28日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2024.10.28 設定日	2025.10.24 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,118
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	340
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	4.8
参考指数騰落率	(%)	—	8.3
純資産総額	(百万円)	10	102

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

投資環境について(2025年4月25日から2025年10月24日まで)

ハイイールド債券市場は、上昇しました。為替市場では、米ドルは対円で上昇しました。

ハイイールド債券市場

米国の労働市場の減速を背景に早期利下げの期待が高まる中、米国を中心に国債利回りは低下しました。また、利下げ期待に支えられ株式市場が堅調に推移する中、スプレッドは縮小しました。

期を通じて見ると、国債利回りの低下、スプレッドの縮小、金利収入などから、ハイイールド債券市場は上昇しました。

為替市場

米国の労働市場の減速を背景にF R B (米連邦準備制度理事会) が利下げを実施したことなどが米ドルの重石にはなりました。しかし、日銀が政策金利を据え置いたことに加え、石破首相の辞任表明を受けて新政権による財政拡大が意識されたことなどから円が売られ、期を通じて見ると米ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて(2025年4月25日から2025年10月24日まで)

当ファンド

当ファンドは「SMD-AM アレス ESG エンハンスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド(Fクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし)」、「Iクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし)」および「マネー・トラスト・マザーファンド」を主な投資対象とし、今期は「SMD-AM アレス ESG エンハンスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド(Fクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし)」の組み入れを高位に保ちました。

SMD-AM アレス ESG エンハンスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド(Fクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし)

主に世界各国・地域の先進国通貨建ての投資適格未満の債券への投資を通じて安定的なリターンを目指しました。運用にあたっては、個別債券の発行体に対する徹底したクレジット分析に加え、投資先企業へのエンゲージメントを通じて、責任ある企業行動を促し、企業のESGリスク管理を強化しました。

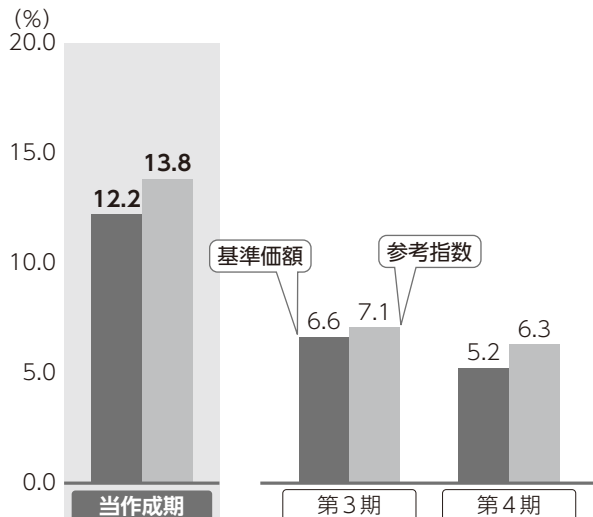
今期においては、スプレッドの縮小、金利収入、米ドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となりました。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2025年4月25日から2025年10月24日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてICE BofA グローバル・ハイイールド・コンストレインド指数(米ドルヘッジ、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※当学期の基準価額は分配金再投資ベース、各期は分配金(税引前)込み。

分配金について(2025年4月25日から2025年10月24日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第3期	第4期
当期分配金	110	120
(対基準価額比率)	(1.12%)	(1.17%)
当期の収益	110	39
当期の収益以外	—	80
翌期繰越分配対象額	333	253

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「SMD-AM アレス ESG エンハンスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド(Fクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし)」、「Iクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし」を主要投資対象とし、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

SMD-AM アレス ESG エンハンスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド(Fクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし)、「Iクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし」

米国では、雇用創出ペースの減速を背景に、FRBは年内にあと2回の利下げを行うと想定します。一方でインフレ懸念も根強く、長期金利(10年国債利回り)は横ばい

の展開を予想します。ユーロ圏では、景気は底堅く推移する見込みであり、ECB(欧州中央銀行)は政策金利を維持すると予想します。そのため、長期金利は横ばいの展開を予想します。

ハイイールド市場は、米国政府による関税政策や世界経済への影響、フランスの政治不安やウクライナ情勢など不安材料が存在する一方、発行体企業のバランスシートやファンダメンタルズは全体として底堅い水準にあります。引き続き、徹底したクレジット・リサーチに基づく銘柄選択を中心とした運用を継続する方針です。

マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

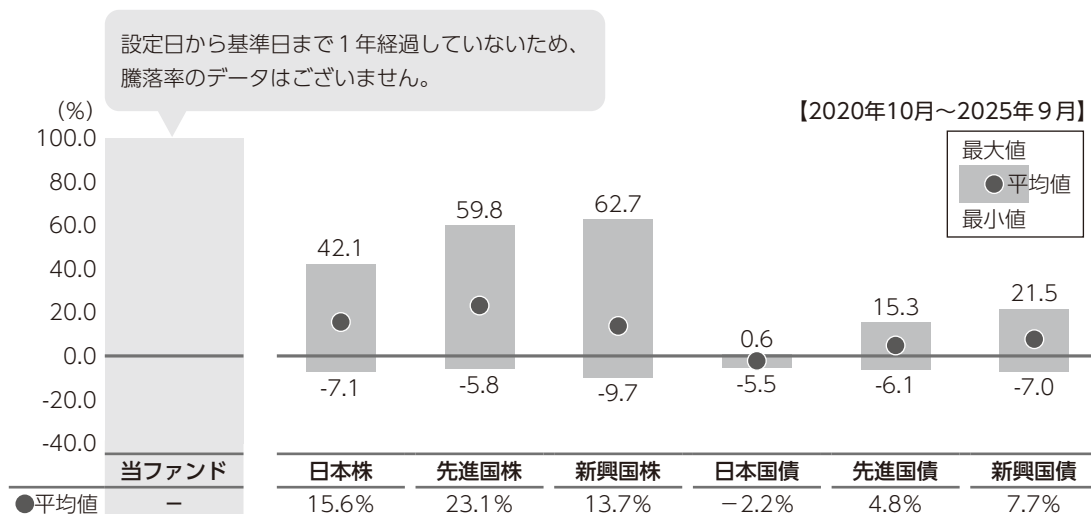
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限(設定日：2024年10月28日)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界のハイイールド債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	<p>当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>SMD-AM アレス ESG エンハンスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド(Fクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし)／(Iクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし)</p> <p>世界各国のソブリン・準ソブリン・企業が発行する高利回り債券</p> <p>マネー・トラスト・マザーファンド</p> <p>円貨建ての短期公社債および短期金融商品</p>
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として世界のハイイールド債券に投資します。 ■世界のハイイールド債券の実質的な運用は、アレス・キャピタル・マネジメント II エルエルシーが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年4回(原則として毎年1月、4月、7月、10月の24日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

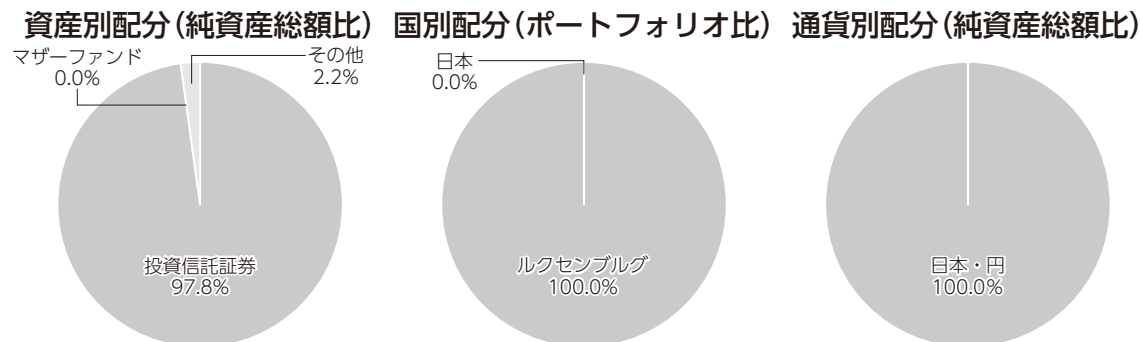
6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容(2025年10月24日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
SMD-AM アレス ESG エンハンスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド(Fクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし)	97.8%
マネー・トラスト・マザーファンド	0.0%
コールローン等、その他	2.2%

※比率は、純資産総額に対する割合です。



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第3期末	第4期末
		2025年7月24日	2025年10月24日
純資産総額	(円)	98,738,311	102,885,435
受益権総口数	(口)	101,493,517	101,681,828
1万口当たり基準価額	(円)	9,729	10,118

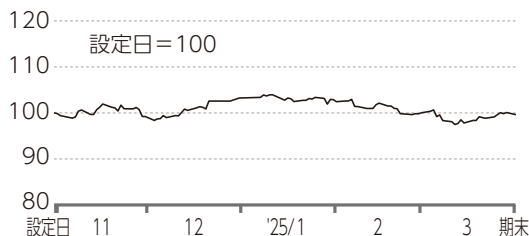
※当作成期における、追加設定元本額は14,026,631円、解約元本額は9,954,967円です。

組入上位ファンドの概要

SMD-AM アレス ESG エンハンスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド (Fクラス、円建て、年2回分配、ヘッジなし) (2024年10月29日～2025年3月31日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「SMD-AM アレス ESG エンハンスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド」の情報で、アレス・マネジメントから提供されたデータに基づき作成していません。

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

1万口当たりの費用明細

※単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

組入上位銘柄

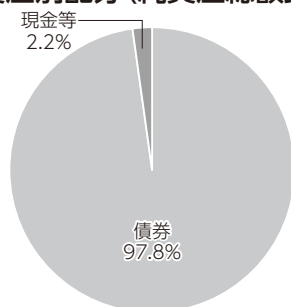
(基準日：2025年3月31日)

	銘柄名	クーポン	償還日	組入比率		銘柄名	クーポン	償還日	組入比率
1	CHS/COMMUNITY HEALTH SYS	5.625%	2027/3/15	1.3%	6	SEALED AIR/SEALED AIR US	6.125%	2028/2/1	1.0%
2	ARDAGH PKG FIN/HLDGS USA	4.125%	2026/8/15	1.3%	7	NATIONSTAR MTG HLD INC	5.500%	2028/8/15	1.0%
3	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	4.500%	2030/8/15	1.1%	8	LPL HOLDINGS INC	4.625%	2027/11/15	1.0%
4	SCRIPPS ESCROW II INC	3.875%	2029/1/15	1.0%	9	CLEAN HARBORS INC	4.875%	2027/7/15	1.0%
5	HOWDEN UK REFINANCE / US	7.250%	2031/2/15	1.0%	10	CLOUD SOFTWARE GRP INC	6.500%	2029/3/31	1.0%
全銘柄数							164銘柄		

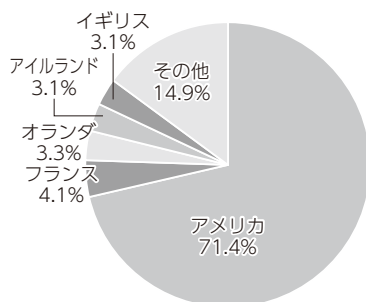
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全銘柄の情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。

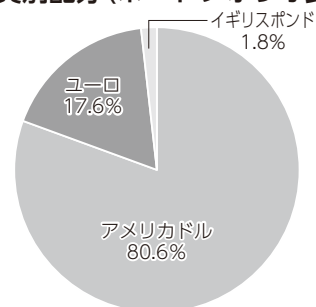
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(ポートフォリオ比)



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2025年3月31日です。